

2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
 代表者名 代表取締役社長 富士本 淳
 (JASDAQ・コード 6425)
 問合せ先 執行役員 経営企画室長 竹内 東司
 電話番号 03-5530-3055 (代表)

通期連結業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響から、未定としておりました2020年12月期(2020年1月1日~2020年12月31日)の通期連結業績について、当期実績値と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

●当期実績値(2020年12月期)と前期実績値(2019年12月期)との差異について

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	百万円 124,944	百万円 389	百万円 △7,941	百万円 △5,191	円 銭 △66.18
当期実績値(B)	90,871	2,555	△9,249	△19,218	△247.60
増減額(B-A)	△34,073	2,166	△1,308	△14,027	
増減率(%)	△27.3%	556.1%	—	—	

(差異の理由)

当連結会計年度における売上高は、遊技機事業においては販売台数が前連結会計期間の114,463台から139,152台に増加した一方、統合型リゾート(IR)事業においては、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした営業停止期間が長期に渡った上、営業再開後も操業が限定されていることもあり、前期実績値を下回りました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)の特別損失への振替、前期と比較して円高ドル安による為替差損等が発生したことから、営業利益は前期実績値を上回る結果となりましたが、経常利益は△9,249百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は△19,218百万円となりました。

以 上